

平成 28 年度 歯科口腔保健対策部会の開催状況

開催日	平成 29 年 1 月 20 (金)
議題等	健康日本 2 1 あいち新計画 (歯科) 及び愛知県歯科口腔保健基本計画の推進について
議題等	<p>1 議題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成 28 年度主な歯科口腔保健対策事業について ○愛知県歯科口腔保健基本計画の推進状況と今後の展開について ○歯科口腔保健基本計画中間評価について <p>2 報告事項</p> <p>平成 28 年歯科疾患実態調査集計結果 (愛知県分) について</p>
検討状況等	<p>1 議題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○愛知県歯科口腔保健基本計画の推進状況について事務局から報告し、評価及び今後の展開について協議を行った。 ○歯科口腔保健基本計画中間評価スケジュールについて説明を行った。 <p>(主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○3 歳児で不正咬合が認められる者の割合を減少させる取り組みについて、指しゃぶりが原因の場合もあり対策は難しいが、離乳食期や 1 歳 6 か月児健診の時期に口腔機能について適切に情報提供を行うことが重要である。 ○学校歯科医による健康教育を支援している施設の割合の現状値が 24.2% と低すぎるので、歯科医師会として対応を考えたい。 ○働く世代に対する取り組みとして、ショッピングモールと連携イベントに併せ歯科検診を実施する例や、協会けんぽ被保険者の扶養家族に対する健康診断に併せ歯科検診を実施し成果を上げている例もある。 ○在宅高齢者に対する摂食嚥下にかかる取り組みでは、医科、歯科のうち、どこが責任をもって摂食嚥下機能を評価し、どのように連携チームを作ってゆくのか明確でないことが課題である。 ○口腔ケアの重要性を多職種が理解することが、医科・歯科連携を進める上で必要である。 ○すべての年代で、口腔機能へのアプローチの重要性に視点がシフトしている。 ○地域の歯科保健活動を強化する上で、各保健所に歯科衛生士が必要である。 <p>2 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成 28 年歯科疾患実態調査集計結果 (愛知県分) について報告を行った

平成 28 年度愛知県健康づくり推進協議会歯科口腔保健対策部会構成員名簿

所属名	職名	氏名
愛知学院大学歯学部口腔衛生学講座	教 授	嶋 崎 義 浩
愛知学院大学歯学部在宅医療学寄附講座	特任准教授	杉 本 太 造
公益社団法人愛知県医師会	理 事	浅 井 清 和
一般社団法人愛知県歯科医師会	副 会 長	小 野 誠 二
公益社団法人愛知県歯科衛生士会	会 長	長 縄 弥 生
公益社団法人愛知県看護協会	教育研修課長	浅 田 美 江
全国健康保険協会愛知支部	企画総務部長	深 沢 英 二
名古屋市健康増進課	歯 科 医 師	加 藤 孝 明
市町村歯科衛生士代表 (岩倉市保健センター)	歯科衛生士	谷 口 幸
愛知県心身障害者コロニー中央病院	歯 科 医 長	加 藤 篤
小・中学校養護教諭代表 (愛知県教育委員会健康学習室)	指 導 主 事	杉 本 春 美
愛知県保健所長会代表 (愛知県衣浦東部保健所)	所 長	吉 田 宏